今に生きる 12月号

令和元年度 日進市立日進西中学校　学校だより

「０話から作りあげる西中メモリー」を、『楽しむ』！！

多くの成果を上げた「令和元年度第２学期」が終わります。

888 名の生徒たちは、２学期始業式のときに話した**目標「楽しむ」**を、頭の中に置いて、学校生活を送ることができました。日々の授業はもちろんですが、この２学期は多くの行事で「０話（れいわ）から」を意識した取り組みが見られました。

「スポーツフェスティバル」での、縦割り応援。同じ色のハチマキの仲間とともに大きな声で励ましました。勝ち負けの先に、みんなで応援を楽しむことができたことが一番です。

「合唱コンクール」での紆余曲折。合唱に向う姿勢に微妙な温度差を感じ、悩んだときもありました。それでも、最後は素敵な合唱を作ろうと、まとまることができました。緊張のステージ発表の先に、みんなで歌を楽しめたことが一番です。

多くの全国大会・東海大会・県大会出場を果たした「部活動」。朝練習がなくなり、限られた時間の中、部員みんなで励まし合って向上することができました。苦しい練習の先に、みんなで同じ目標に向かって進むことを楽しめたことが一番です。

「定期テスト」の勉強も、前向きに学習することの大切さを信じて課題に取り組みました。多くの生徒が質問大作戦に参加し、力を付けました。疑問点をクリアした先に、みんなで勉強を楽しめたことが一番です。

「生徒会活動」にも「地域貢献活動」にも、生徒会役員・評議員・有志の生徒が企画・運営・実践に頑張りました。準備することの大変さの先に、みんなが笑顔で楽しめたことが一番です。

５月からの「令和元年」があと数日で終わろうとしています。「令和」の時代になり、西中生はあらためて「０話から」時代を作りあげてきました。今まで脈々と受け継がれてきた**「今に生きる」**日進西中学校の校風・気質。昭和・平成と続く日進西中学校の歴史の中で、この「令和元年」は一つの**「節目（ふしめ）」**と言えるでしょう。まさしく新しい時代を作りあげようとする生徒の活動が、歴史の区切りになるときでした。

「竹は、節があるから強い」と、よく言われます。竹は成長がとても早く、孟宗竹（もうそうちく）は一日で１メートルも伸びることが観察されています。竹の太さは樹木の幹と比べると比較的細いのにも関わらず、その引っ張り強度（両側からの引っ張りに耐える強さ）は鉄筋よりも二、三倍強いと言われています。この強さの秘密が**「節」**にあるのです。

竹の幹は、材料を最小限にして早く成長するために、中がパイプのような空洞になっています。幹の太さと肉厚に応じて、横からの力で倒れたり、押しつぶされたりしないように保持するのが**「節」**の役目です。背の高い竹に**「節」**があることで、強風による横からの力が当たってもその力に耐えるように竹は折れにくく、しなやかなのです。

それは、この「令和時代」の西中生そのものです。しなやかな心身で、様々な感情・行動・状況を受け止めて大きく成長していく西中生を、とても頼もしく思います。

さあ、明日からの「冬休み」。学校で培った心身のしなやかさを、さらに家庭・地域の中で磨いていくことを期待しています。心も身もより磨かれた生徒たちに、新しい年、令和２年１月７日に会えることを楽しみにしています。

「冬休み」を楽しんでください・・・。

文責：校長　平山　雅之

地域ふれあい祭り

11/3 赤池小，11/23 香久山小，11/24 西小

本校学区内にある３小学校で行われた「ふれあい祭り」に生徒会と評議員、吹奏楽部が参加しました。評議員は工夫を凝らしたブースを出店し、子どもたちに大好評でした。中学生が子どもたちに目線を合わせ、優しく接する姿に頼もしさを感じました。

【企画した生徒会の生徒の感想】

僕は、香久山小学校で行われた地域ふれあい祭りに参加しました。西中の出し物のブースがあり、僕は「缶ぽっくり」のお客さんを呼び込むために「西男くん」になりました。「西男くん」の姿を見て、小さい子は怖がっていましたが、手を振ったり、ハイタッチをしたりすると笑顔になりました。高学年くらいの子とは、ジャンケンもしました。普段は小学生と関わることは少ないですが、とても楽しかったです。

３―３　松川　玄汰

人 権 集 会

～12/3　元気・活気・活力を生み出すペップトーク

今年は、ワクワク人間プロデューサーである三森啓文(みつもりひろふみ)先生をお招きして、「元気・活気・活力を生み出す、ペップトーク」をテーマとした、ポジティブ語で相手をその気にさせる言葉掛けについて講演をしていただきました。

【生徒の感想～魔法の言葉～】

講演で学んだ「ペップトーク」は、言葉の少しの違い、とらえ方の違いで誰もが使える魔法の言葉だと思いました。特に、相手をその気にさせて成功させる未来の言葉の力には驚きました。その一方で、言葉の使い方を間違えれば、それだけのネガティブな力が働くのだと感じ、「認める」ことの大切さも学びました。ペップトークで、周囲の人に温かく、前向きになれるような言葉を掛け、みんなの心も豊かにできたらと思います。

３－４　佐々木　菜衣

福祉実践教室(1 年)

私は、認知症理解講座を受けました。

私が、認知症理解講座を選んだ理由は、私のおばあちゃんが認知症だからです。今までは、何回も同じことを言うおばあちゃんに少しイラついてしてしまったりして、どう対応すれば良いのか全く分かっていませんでした。ですが、今回の講座を受けさせていただいて、正しい対応の仕方を学ぶことができました。これを機に、おばあちゃんとの距離を少しでも縮められたらうれしいです。

１－８　・田　博子

交通安全教室(全校)

僕は、交通安全教室を通して、驚いたことや初めて知ったことがたくさんありました。その中でも特に驚いたのは、ちょっとした交通違反で何十万円、何百万円もの罰金を支払わなければならないということです。例えば、お酒を飲んで自転車に乗ると 100 万円の罰金など、僕の想像をはるかに越える金額を支払わなければなりません。すごく驚きました。このような交通安全教室を受けたことで、交通安全への意識が高まりました。

２－５　今浦　虎太郎

琴の授業(3 年)

琴の授業は、１・２年生で１回ずつ行い今回が３回目の授業でしたが、学校以外で琴に触れることがないので貴重な体験をすることができました。私は楽器を演奏することが苦手ですが、先生に弦を指で押さえる力加減やタイミングなどを優しく教えていただき、だんだんと弾けるようになりました。そのおかげで思っていたよりも簡単に弾くことができ、琴の授業を通して楽器を弾く楽しさと、また日本の文化も感じることができました。

３－４　内藤　日和

～活躍する西中生　～各種表彰の記録～

○　ソフトテニス部　男子　第２回ぶどうカップ　団体　第３位
　　第３５回秋季中学校ソフトテニス研修大会　団体　第３位
　　愛知県中学校ソフトテニス新人大会　団体　準優勝
○　陸上部　第１回愛知県中学生新人陸上競技大会
　　女子 200m　第６位　２－８　布谷泉澄　　1500m　第６位　２－４　石川桜子
○　吹奏楽部　第２５回日本管弦合奏コンテスト中学校 B 部門　文部科学大臣賞
○　美術部　第２７回ファッション画コンテスト　佳作　橋本　万莉菜
○　ライオンズ賞　３－６　大政　光司
○　学校給食献立コンクール　２－５　梶田　桜羅　優秀賞
○　日進市男女共同参画あるある川柳・標語　３－４　古後　はづき　佳作
○　第７１回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
　　ポスターの部　３－４　村松　みうめ　日進市共同募金委員会長賞
　　書道の部　３－４　柳田　優衣　日進市共同募金委員会長賞
　　１－９　中村　葵　佳作